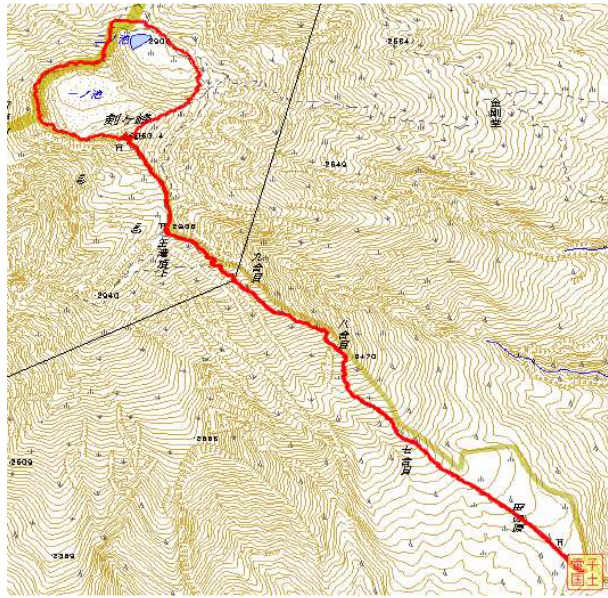


7 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	藤田 勝啓	参加 メンバー	CL:金子 清 SL:竹内 幹夫 津田 廣一、神戸 和広 町田 修、藤田 勝啓(記)
山域	御嶽山	報告日			
山名	御嶽山 3067m	山行日	14 年 07 月 18 日(金)		

山行目的	ピスコ登山 トレーニング (高地順応)	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	---------------------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)



2.5 万分の 1 地図: 御嶽山

建国姫竜神の石像→

7/17 曇り

- 19:45 刈谷N1P発
- 23:10 御岳 2240 スキー場
- 7/18 曇り時々雨
- 04:15 起床
- 05:41 田ノ原P出発
- 06:30 2500m 1本 (15分)
- 07:30 9合目 (15分)
- 08:00 王滝頂上 (15分)
- 08:40 剣ヶ峰 (20分)
- 09:00~10:24 お鉢巡り
- 10:43 下山開始
- 11:23 一口水 1本 (15分)
- 12:30 田ノ原P
- 14:00~15:00 ☁
- 19:29 刈谷善



田ノ原登山口



王滝の御嶽神社



お鉢巡りの岩場にて

〈山行報告〉 田ノ原社務所とつばな鳥居の建つ、田ノ原駐車場の登山口で集合写真を撮影後に出発。金子リーダーより「ゆっくり行こうか」の声がかかる。山頂付近は雲で見えず。薄ら寒さを感じながら平坦な砂利道を進む。ウグイスが縄張りを威嚇するのか？鳴いていた。左右に広がる散策道を通り過ぎた頃に登坂に突入。暫くして体が汗ばみ登りに慣れる。2500mの森林限界を超えると心地よい風が吹き、汗も引く。雲が低く垂れ込め、先行きが怪しい。8合目付近で7~8人の小屋泊りの下山パーティとすれ違う。軽く挨拶を交わすが天気も今一で気分は重そう？。ガスがまとわり水滴が付き始めるので9合目石室で一本とり、カッパを着る。暫く登ると発電機の音が聞こえ、王滝頂上の御嶽神社に到着。一息つき、ピスコ登山の安全を祈念して各自参拝…。さらに30分程進むと剣ヶ峰頂上。とりあえず握手を交わし、御嶽神社頂上奥社で参拝後に山頂三角点で集合写真を撮る。ガスが流れる山頂からの展望は利かず。これより高所順応訓練を兼ねて約1.5時間のお鉢巡り。反時計回りで二ノ池を目指す。最初の30分程は下り坂が続き、二ノ池本館に着く。建国姫竜神の石像が池のほとりに整然と佇んでいた。ここからは約1時間の登り、竹内さんトップでガスで視界の利かない岩場に踏み跡を求め。滑らないように注意して進む。ポイントでは登山道の傍らに不動明王像が建っていて道案内をしてくれる。お鉢を一周して剣ヶ峰山荘に戻るとアルパイトの男性が玄関先に出いたので20分程休憩して談笑する。ガスは一向に晴れないが下山開始。沢筋に雪が残っている一口水で一本。この頃には晴れ間が見え始め、田ノ原駐車場を確認できた。カッ

パを脱ぐ人と着たままの人に分かれた。八合目を過ぎ、金剛童子の辺りでは薄日が差し、汗が出てきた。最後は階段状を下っていくと平坦な砂利道に出た。一般の参拝者や御嶽山撮影のカマランを見かけた。気の良さそうなおじさんが近づいてきて、「御嶽登山ご苦労様」と言ってみかんを差し出してくれたので遠慮なく頂いた。12:30 田ノ原駐車場に到着。開放感と心地よい疲れに浸りながら、御嶽山を振り返ると、山頂付近は雲を戴いたままだった。

〈リーダー所見〉

今回は富士山から御嶽山にトレーニング場所を変えて行った。移動の車の中、テントの中では個人装備の準備状況や自主トレ等の情報交換で盛り上がる。登山はあいにくの天候で、視界も悪く展望を楽しむことはできなかったが目的の高地順応トレーニングについては計画通り実施できた。チームワークも良好で、次週の富士登山(1泊2日)が楽しみだ。



御嶽剣ヶ峰にて

藤田・津田・神戸・町田・金子・竹内

確認 (リーダー)
金子
14.08.05
作成 (報告者)
藤田
14.07.24